

能と狂言

鍊仙会
TESSENKAI

青山能

2025年5月28日(水)
午後6時30分開演(午後6時開場)
会場 鍊仙会能楽研修所

狂言

磁石

野村万之丞

能

富士太鼓

安藤 貴康



鍊仙会青山能(5月)

2025年5月28日(水) 午後6時30分開演

仕舞
梅枝
キリ

観世鏡之丞

狂言
磁石

シテ すっぱ 野村万之丞
アド 見附の者 野村拳之介
小アド 宿屋 河野 佑紀

能
富士太鼓

シテ 富士ノ妻 安藤 貴康
子方 富士ノ娘 安藤継之助
ワキ 臣下 館田 善博
アイ 太刀持 野村眞之介
笛 一噌 隆晴
小鼓 曾和伊喜夫
大鼓 亀井 洋佑
地頭 観世 淳夫

終演後に能楽小講座あり。
その日の演目を中心に、能楽師が初めての方にも
分かりやすくお話し致します。

磁石

都へと向う遠江国見附の田舎者。道中、大津松本の市を見物をしているとすっぱが通りがかり、言葉巧みに田舎者に近づく。同道することになった二人が宿屋で休むと、実は宿屋の亭主は人買いであった。自分を売買する二人の商談を聞き付けた田舎者は金の受け渡しに先回りすると、まんまと金をせしめて逃げてしまう。

それに気付いたすっぱは慌てて田舎者の跡を追う。太刀を振り上げて脅すすっぱに田舎者は突然大声を上げ、太刀を飲み込もうとして…。

富士太鼓

内裏で七日間の管絃講が催されることになり、天王寺の楽人で浅間という太鼓の名手が呼び寄せられた。しかしその後、同じく太鼓の名人である住吉の楽人、富士という男が同役を志願して上洛したため、その振る舞いを許せず恨んだ浅間は、富士を殺めてしまう。

一方、不吉な夢を見た富士の妻は夫の安否を気遣い、子とともに都に上る。しかし無情にも夫の死を知らされ、形見の舞装束を受け取った妻は、高望みする夫を引き止めなかったことを悔やみ、その死を嘆き悲しむ。さらに夫の形見の装束を身につけると妻は次第に狂乱の体となり、太鼓を見据えてあれぞ夫の敵と打ちかかる…。

そうするうちに恨みも晴れた妻は千秋楽と太平楽の太鼓を打ち、衣装を脱ぎ捨ててこの太鼓こそが夫の形見であったと言い、子と連れ立って郷里へ帰るのだった。

狂気を含んだ夫への激しい思慕の念が、クライマックスへと向かい徐々に高まってゆく構成が見事な物狂能。

〈午後8時25分頃終演予定〉

◎より詳しい解説を鍊仙会ホームページにて順次公開しております。
ご観能前には是非ご覧下さい。

※携帯電話等、音や光の出る機器の電源は予めお切り下さい。

※無許可の写真撮影、録音、録画は固くお断り致します。

※客席内でのご飲食はご遠慮下さい。

会場：鍊仙会能楽研修所(全自由席)

〈交通〉地下鉄表参道駅下車
(銀座線・千代田線・半蔵門線)
A4出口より徒歩3分

〒107-0062

東京都港区南青山4-21-29

TEL 03-3401-2285

※駐車場はございませんので
お車でのご来場はご遠慮下さい。

入場料… 一般 4,500円

U25(25歳以下) 2,200円

ベンチ 5,000円

回数券 定期公演・青山能共通/5枚綴り
一般回数券 122,000円

U25(25歳以下) 回数券 110,000円

※2025年度の定期公演・青山能でご利用頂けます。
ご予約受付中。詳しくは鍊仙会までお問い合わせ下さい。

お問い合わせ・お申し込み…鍊仙会

電話 03-3401-2285(平日10~17時)

ホームページ <http://www.tessen.org>

予約受付開始：2025年2月17日(月) WEB 10時、電話 13時

鍊仙会定期公演(6月)予告

会場：観世能楽堂

6月13日(金) 午後6時開演

能
氷室

白頭 谷本 健吾

狂言
引括

龜山院臣下の前に示現した氷室明神は氷
供御調達の有様を見せ御代を祝福する。
離縁された妻は印に何なりと持つて行け
という亭主に袋を被せ引括っていく…。

能
通小町

小野小町への志の妄執故に地獄で苦しむ
深草少将の霊は百夜通いの様を見せる。 西村 高夫

鍊仙会青山能(9月)予告 会場：鍊仙会能楽研修所

9月24日(水) 午後6時30分開演

狂言
呼声

叱られると思ひ居留守を決め込む召使を
何とか呼び出そうと主は一計を案じ…。 大藏 基誠

能
山姥

山姥の曲舞で有名な遊女の前に山姥が現
れ善悪不二を説き山巡りの様を見せる。 谷本 健吾